



にしごう

1995 9

No. 297

平成7年9月1日発行

炬火探火地：太陽の国
第31回全国身体障害者スポーツ大会
平成7年10月24日

ふるさとの地を訪ね、昔懐かしい笛や太鼓の「おはやし」を聞けば、踊りの輪が幾重にも広がります。

以前は夏になると、村内の各部落で行われていた『盆おどり』も今日では、数えるばかりになってしまいました。

■ 村民のうごき	
男	8,980人 (+14)
女	8,847人 (+30)
人口・計	17,827人 (+44)
世帯数	4,827戸 (+8)

[平成7年8月1日現在・()内は前月比]

いよいよ間近にせまった 「ふくしま国体」

第50回国民体育大会秋季大会まで

残すところ1か月余り！

八月十三日は、第五十回国民体育大会（ふくしま国体）秋季大会開幕日の五十日前にあたり村では、記念行事として午前六時から午後三時まで「マラソン野球大会」が村民野球場で開催されました。また同会場で午前十時から「モニュメント除幕式」も盛大に執り行われました。

本村では、軟式野球競技会（成年一部壮年）が開催されますが、大会の成功に向けた村民総ぐるみでの取り組みの様子や練習風景をご紹介します。



△本番に向け式典コンパニオン・球場アナウンサーも頑張っています。



△心をこめて、村の中を「花いっぱい……運動」を展開中。



Main Contents

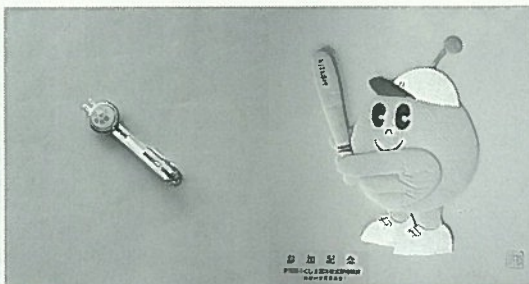
〈主な内容〉

- いよいよ間近にせまった「ふくしま国体」…… 2～5
- 村民憲章、決定！…… 6
- 平成7年のお盆成人式、20歳の自覚を胸に…… 7
- JR車輛基地誘致調査特別委員会
（第1回調査報告）…… 8～9
- 古文書紹介（第1回）…… 12

村民総参加、みんなの力で 《大会当日の「集団演技」も 国体を成功させよう。 欠かせません。》



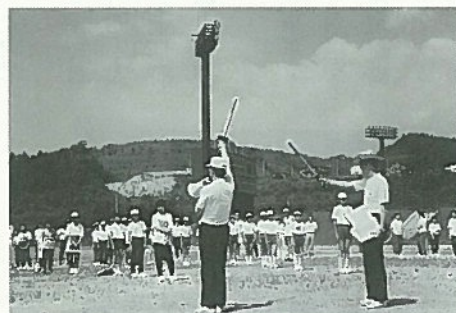
△踊りの練習風景



△お土産用の記念品の手造り「ネクタイピン」と「押絵」も
大会成功に一役買っています。



△鼓笛の練習風景



△マスゲームの練習風景



△大会旗、炬火リレー走者も
本番に向け炎天下のもと始動開始！



軟式野球開催

50日前記念行事

【モニュメント除幕式】



△「投手」を表現したモニュメントの除幕を行う関係者

八月十三日、午前十時村民
野球場の入口付近で国体開催
の記念としてモニュメント除
幕式が行われました。

大会関係者や、この日開催
したマラソン野球選手の皆さ
ん約二百人が参列しました。

モニュメントの材質は、ミ
カゲ石高さ一・六メートル、
幅〇・五七メートルで、「投
手」を表現しているそうです。

【マラソン野球大会】

9時間・50イニングに

およんだ「熱闘」

この日、村実行委員会では
村民野球場で延べ約百四十人
が参加し、国体開催五十日前
記念行事マラソン野球大会が
開かれました。

大会は東西対抗戦（東軍・
西一中、川谷中学区、西軍・
西二中学区）で野球連盟編成、
中学生編成、一般混成チーム
による試合が午前六時、秋山
和男村野球連盟会長の始球式
でプレーボール。

花火を合図に、東軍（佐藤



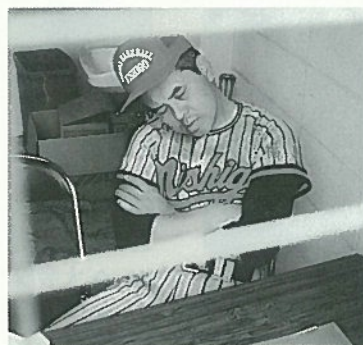
△熱闘を演じた皆さん

正博監督・真船）と西軍（矢
吹利夫監督・一の又）に分か
れ、熱戦が展開されました。
途中、的当てや遠投、ベー
スタム測定、ジャンケンゲ
ームなどのアトラクションが
あり盛りだくさんの景品に、
参加者はおお喜び。

午後三時、待望の五十イニ
ングスを終了、勝敗よりも約
九時間におよぶ健闘を、お互
いにたたえ合っていました。

長時間の健闘に、疲れ切っ
ている選手、しかしどの顔に
も成し遂げた満足感が、十二
分に感じられました。暑い中、
大変お疲れさまでした。

試合結果は次のとおり。



△試合中こんな姿も！



△試合終了後の感動ひとしお

36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	計
1	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	22
3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	20

十月七日に

大会旗・炬火リレー

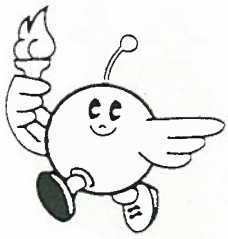
来る十月十四日、福島市の県営あづま陸上競技場で、第五十回国民体育大会（ふくしま国体）の総合開会式が開催されます。

これに先立ち、県内八か所で採火された炬火が、大会旗とともに県内九十市町村をリレーし、開会式当日に炬火台で一つになります。

この炬火は、大会最終日の十九日までの六日間燃え続けることとなります。

村内での炬火リレーは、十月七日、白河の関跡で採火された後白河市のリレー隊によって本村に運ばれ、村内八区間九中継所をリレーして表郷村へと引き継がれます。

村民の皆さんの沿道での声援をお願いします。



村内を炬火リレーが通ります。`声援`を！

大会旗・炬火リレーコース

（中継地点到着予定時間）

市町村境引継式	←	西郷村役場	←	太幸苑駐車場	←	太陽の国管理センター駐車場	←	三和部品工業駐車場	←	西郷第二中学校	←	西郷幼稚園	←	西郷村第二保育所	←	ビジネスホテルゴールド前
十四時 五分		十二時三十八分		十二時二十五分		十二時 十九分		十二時 九分		十二時五十七分		十二時五十一分		十二時四十一分		十二時二十五分

「大会旗・炬火リレー」の

あゆみ

国民体育大会に炬火が、用いられたのは第三回福岡大会が最初とか。第五回愛知大会を契機に、炬火は大会のシンボルとして秋季大会期間中主競技場にともされるようになりました。

炬火リレーされるようになったのは第十二回静岡県大会が最初でしたが、国民体育大会開催基準要項の一部改正によって、秋季大会リレーのみが成文化されたので以後は、秋季大会炬火リレーだけが正式に開催地都道府県で実施されることになりました。

大会旗は、第二回石川大会で初めて掲揚され、大会旗リレーは第三回福岡大会で前年の開催県である石川県から継走されたのが最初であり、前年の秋季大会会場地から翌年の秋季大会会場地までリレーされました。

第二十八回千葉大会からは、国民体育大会開催基準要項の一部改正に伴い、炬火ともに開催地都道府県内に限りリレーすることができ、リレーの方法についても開催地都道府県実行委員会が企画し、実施するように定められ今日に至っています。

<国体50日前マラソン野球大会>

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
東 軍	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
西 軍	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

“村民憲章”決定！

自然保護や活力ある豊かな村づくりをめざす五項目が選ばれました。

本村の憲法といえる村民憲章が、決定しました。

以前から西郷村には、村の憲法とも言うべき『村民憲章』がなかったため、多くの村民から早急に制定を望む声がありました。このほど『村を愛し、先人の遺産を受け継ぎ連帯と協調の心をもって、明るく住みよい村づくりのための指針』となる憲章を広く村民に募ったところ六十三件一〇七項目三十七人の方々からご応募をいただきました。

去る、七月十三日と八月十一日の両日、村文化センターで選考委員会の厳正な選考の結果、入賞、佳作が決定し八月二十三日村長室において、入賞者及び佳作者に賞金がそれぞれ贈られました。



△菊地村長から表彰状を受ける寺田さん(中央)、星野さん(右)。

入 賞 作 品

- ◇ ゆたかな自然環境 恵まれた水資源を大切にまもりましょう。
- ◇ 若人の良い個性を生かし 活力ある村をつくりましょう。
- ◇ 家庭と人のいのちを大切にまもりましょう。
- ◇ 愛情ゆたかな福祉の村を大きくつくりましょう。
- ◇ 教養を高め村の文化と伝統を大切にまもりましょう。

(入 賞 者)

＝ 敬称略 ＝

氏 名	住 所	年令	選考決定項目数
寺 田 繁 雄	真船字芝原5 1 1－1	7 5	4 項目
星 野 憲 一	小田倉字小田倉原2 9	6 7	1 項目

(佳 作 者)

氏 名	住 所	年令
星 野 憲 一	小田倉字小田倉原2 9	6 7
真 木 徳 子	米字向原1 3 6－3	4 6
小 林 伴 子	熊倉字四斗蒔1 1	4 4

平成7年“お盆成人式”

20歳の自覚を胸に

はたち

おめでとう！

“成人式は人生の出航式”

村の成人式が十五日、文化センターで行われました。

月遅れのお盆で帰省した新成人を迎えるの成人式。

この日、男性百二十四人、女性百二十七人計二百五十一人が晴れて大人の仲間入り。

式には、村外からの出席者三十四人を含む百六十七人が出席、門出を祝いました。

猛暑の中、軽装で式に臨んだ新成人たちは、故郷での旧友たちとの再会を楽しんでいました。

式では、菊地村長から成人者代表の鈴木和範さんと、榛葉真理子さんに成人証書と記念品が赠られ、佐々木教育長が式辞を述べました。

来賓の高田村議会議長、加須我選挙管理委員長の祝辞につづき、新成人を代表して須藤功さんが、成人としての誓いのことばを述べました。

このあと、国立那須甲子少年自然の家所長五十川隆夫さんの「大人の条件」と題しての記念講演や、西郷お母さんコーラスの記念公演が、式に花を添えてくれました。



△ 成人証書授与、記念品贈呈
(鈴木和範(中央)・榛葉真理子さん(左))



△ 友達との再会を喜ぶ新成人



△ 責任と自覚をもって「いよいよ大人」



△ 誓いのことば、須藤功さん

村民の皆さんへ

平成六年度、西郷村議会第

二回定例会において設置され

た調査特別委員会は、去る八

月一日と二日の二日間にあ

り、東北新幹線那須塩原の車

輻基地、JR本社、静岡県の

掛川市役所、東海道新幹線掛

川駅等を視察調査を致してま

いりましたので紙上より、村

民の皆様へ報告申し上げます。

この調査特別委員会の設置

は、現在、那須塩原駅から始

発着している便を新白河駅に

誘致しようという目的で設置

されたものです。

第一回調査報告

を実現させるために委員八名
をもって設置されました。

(新白河駅設致調査特別委員会)

JR車輛基地誘致調査特別委員会 委員長 佐藤 富男

初日、委員会は那須塩原駅
の車輛基地を調査、うだる様
な暑さの中、基地の区長さん
の案内で基地内を調査、説明
を受けました。



▲那須塩原駅の車両基地内

現在、この基地には三両の
列車が停泊しており、将来も
う二車両の停泊レールを建設
するとのことであります。

始発の便は、これらの三両
と上野から回送により始発さ
れるマックス、小山から回送
の列車との計五本の始発列車
が那須塩原駅より発車されて
おります。

掲載致しました新白河駅と
那須塩原駅との始発着ダイヤ
を比較いただき、現状をご理
解賜わりたいと思います。

新幹線停車比較表

□ 6時～7時30分までの発車
便(上り)

新白河駅発	那須塩原駅発
7時8分	6時5分
	6時21分
	6時35分
	6時42分
	6時55分
	7時23分

□ 20時以降停車便(下り)

新白河駅着	那須塩原駅着
20時40分	20時28分
20時47分	20時35分
21時56分	21時3分
22時47分	21時43分
	22時15分
	23時5分
	23時31分
	23時59分

また、両駅利用の一日の平
均乗客数の比較は、新白河駅
から一、六〇〇人、那須塩原
駅から二、四〇〇人となって
おります。

これも始発終電車の数の差
ではないかと思われれますが、
このことが、車両基地の誘致
に大きな足かせとなっております。

JR本社を訪問し、総合企
画本部、投資計画部長・夏目
誠氏に面会、委員会設置のあ
いさつ、白河地方の方々の要
望をお伝えし、ご意見をお伺
い致しました。

始発終電車両の設置には、
『JRとして一番大切なのは、
採算がとれるかどうかである。

現在の那須塩原駅と新白河駅
の乗車状況を比較していただ
ければ如何に難しいことか、ご
理解いただけると思います。』
とのことでありました。

また、その一方で『将来に
おいて、乗客の増加が予測さ
れる場合には、先行投資もや
ぶさかではありません。』と
の実現に向かって明るいご意
見もいただきました。

委員会の一致した結論とし
ては、JR本社に対し、白河
地方の現状と将来について、
資料を作成し、白河地方をも
っともっと売り込んで行か
なくてはならない。そして乗
客の増加策についても研究し、
白河地方の熱意をご理解いた

だかなければならないとの、認識で一致を見ました。

また、部長さんからJR本社としてもその実現を図るためには、世論を盛り上げていただくことも大事であるので、頑張っていたきたいとの励ましのお言葉も頂戴致してまいりました。



▲JR本社を訪問。

村民の皆様の方強い御支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

午後六時三十分より福島県二区選出の衆議院の代議士にご出席を戴いた上で、意見の交換と今後のご協力を仰ぐた

紙面をお借りします。

め懇親会を催しました。

公務多忙の中、渡部恒三代議士、荒井広行代議士のご出席と、公務のためご出席できなかった、穂積良行代議士、斎藤文昭代議士、玄葉光一郎代議士の秘書の皆さんのご出席を賜わり、強く目的達成のための御支援をお願い致しました。

席上、各代議士から万全の協力をしていくとの温かい励ましのお言葉を賜わり一同心強くいたしました。

八月二日、静岡県掛川市役所を訪問。

市建設部市街地整備課、課長補佐・山本君治氏、議会経済建設委員長・青木貞男氏のご出席とご説明をいただきました



▲静岡県掛川市役所を訪問。

した。

特に、山本課長補佐から東海道新幹線掛川駅の誘致の経過と市長の行政運営について極めて細かにご説明をいただきました。

掛川駅は東京から八番目の駅で、東京から概ね一時間四〇分、人口七六、〇〇〇人の城下町であります。

市長は榛村純一氏で日本で生涯学習の生みの親とも言われている方で、『山と村の思』『いまなぜ生涯学習か』『分権の旗手』等、彼が出版した本は、十八ほどもあり、正に地方行政の権威者と言われておられる方であります。

昭和五十二年、始めて四十三歳で掛川市長に立候補された時、市長は新幹線の駅の設置を選挙公約として立候補されました。

当時の掛川市民はもとより市役所職員、近隣の首長たちからばかにされておられていたといえます。

莫大な百十三億円もの地元負担金、国鉄との交渉、誰もがそんなことは実現するはずがないと思っておられたそう

です。

当時、東海道新幹線沿線の十三の都市から陳情があったそうです。それらの都市では、近隣の市町村と期成同盟会を結成し、駅の誘致を国鉄に陳情されていきました。

しかし、掛川市長に当選後、榛村新市長は、高木国鉄総裁を始め、関係機関にたつた一人で百四回足を運び、概ね八年の歳月を経て、その実現を勝ち取ったのであります。

また、駅設置に要する百十六億円の事業費についても自らの市長報酬の半額減給や組長さん単位までの市民募金運動の展開を行ない目標の二十五億円を達成、また県からも二十億円の支援金を勝ち取り、まさに素晴らしい行動力で新幹線掛川駅が実現したのであります。

また、新幹線駅の設置により南北駅前区画整理、城下町市街地整備計画、エコポリス工業団地の造成による企業の誘致が実現し、近隣市町村の中でも急激な発展を遂げました。

地元の人々の熱い行動力な

くして地元の発展はありま

ん。
今回の私たちの特別委員会も、目標に向かって全力で行動することを全員で誓い合い帰ってまいりました。

八月九日、第三回調査特別委員会を開催し今回のまとめと、今後の行動日程を審議し、白河地方の過去、現在、未来のことについての資料の収集東西白河地方の自治体との協力体制の促進、地域住民や団体との意見交換、乗客の増加策の研究等を行なっていくことを確認致しました。

今後とも村民の皆様、職員の皆様、団体の方々に趣旨をご理解賜わり、温かい御支援、ご協力、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

また、このことについて、ご意見がありましたら議会事務局までご連絡をお願い申し上げます。

議会事務局

電話二五一一一一

(内線 二六二二)

7月21日

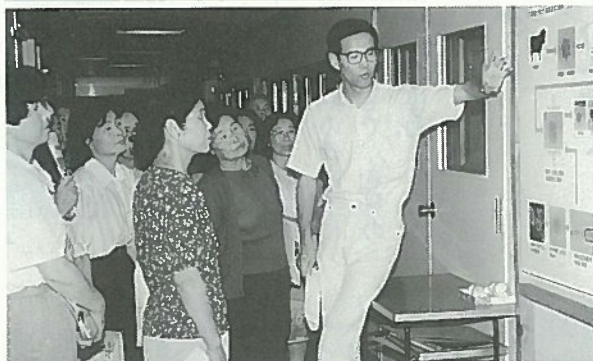
県南磐青の会が“西郷村探訪研修会”を開催

国立磐梯青年の家での「婦人リーダー養成研修」経験者でつくられた県南磐青の会（渡辺トシ子会長・棚倉在住）の町村探訪研修会が、本村を会場に開催されました。

昨年から、東西白河両郡の各市町村が持ち回りで開催し、各地の生涯学習と地域活性化を研修しています。この日、当村からは西郷支部長の高瀬初枝さん（22人）を含め総勢72人が参加しました。村文化センターでオリエンテーションの後早速、農林省家畜改良センターや文部省国立那須甲子少年自然の家などを視察しました。



トピックス



7月22日

八雲神社のお祭りに、おみこしが繰り出されました。



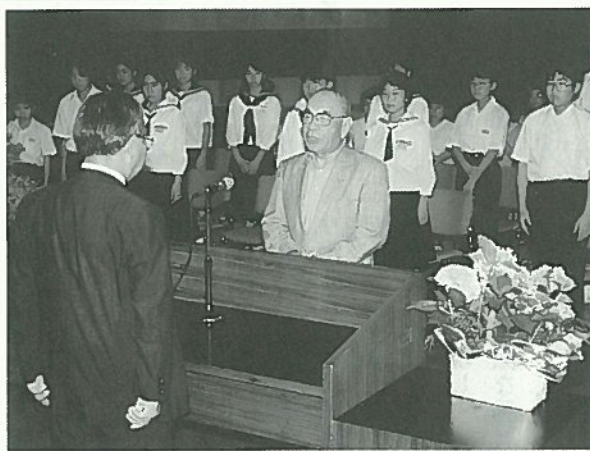
上新田地区にある八雲神社（上新田転作技術研修センター前）の、おみこし担ぎが賑やかに行われました。この行事は、戦前から続いており村の中での数少ない行事となっていました。薄暗くなった境内で、ハッピー姿の若衆が神主からおみきを振るまってもらい早速、威勢の良い掛け声で部落内をねり歩いていた。

7月24日

村内の中学生26人も、中国「蕪県」へ。

平成7年度西郷村中学生海外派遣団員の結団式と出発式が、参加する村内3校の中学生26人と、父兄教育関係者ら50人が出席し村文化センターで開催されました。初の中学生海外派遣団員の代表として西郷第一中学校2年佐久間達也君（折口原）に菊地村長から団員証が手渡されました。

この後、団長の山下正一先生（社会教育委員長）が、力強く決意表明をしました。また、中国で披露される歌や踊りも、あわせて紹介されました。



〈クレーン操作を体験〉

7月27日

「ごみ減量親子研究会」で、ゴミの収集体験や処理施設を見学。

このほど西白河地方衛生処理一部組合で、当地方の市町村から8組16人の親子を招いて「ごみ減量親子研究会」を開催しました。このような研究会の開催は、今年で3回目。本村からは、大平在住の橋本庸子さん優佑君（小田倉小・3年）親子が参加しました。ゴミ収集車に同乗しての収集体験や、新しく完成したばかりの西白河地方クリーンセンター内などを見学し、改めてゴミの減量とリサイクルの重要性を再認識していました。

7月29, 30日

都会の子、西郷の自然を満喫

今年で11年目を迎えた“ふるさと交歓会”

東京新宿の若松地区青少年育成会と羽太小学校PTA（会長・佐藤公春さん、児童89人）とのふるさと交歓会が今年も開催されました。この交歓会は、今年で延べ17回目の開催となりました。若松地区の児童39人、引率14人の一行は、29、30日の1泊2日の予定で当地区を訪れたものです。学校で開始式後、早速校庭にテントを張りみんなで夕食をつくり、豚汁、魚の塩焼き、焼きソバ等等に舌づつみを打っていました。午後7時からはキャンプファイヤー。翌日は、新甲子のキヨロロン村や、ちゃぼランドで楽しい時間を過ごしました。この2日間で都会の子供たちは、恵まれた本村の自然を十二分に堪能したようです。地元父兄も汗だくになっての、お手伝いの甲斐合って今回の交歓会も大成功。両地区にとって、今年もまた、夏休みの楽しい思い出づくりが出来たことと思います。



7月31日

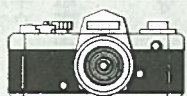
おいしい“冷し中華とおにぎり”のプレゼントに、希望の家の子は満足の笑顔。

心身障害者の社会復帰を目指す社会事業授産施設「甲子の里希望の家」（小野崎秀夫所長）に、このほど追原で、もり食堂を経営する森俊男・しげ子さんご夫妻が、冷し中華そばとおにぎり35食分をプレゼントしました。同施設が追原にあった時、同食堂を利用してくれたことへの感謝と、以前からプレゼントをしたいと思っていた森さんの考えにより実現したものです。森さんご夫妻は、希望の家へのプレゼントは今後も続けていきたいと流れ落ちる汗を拭きながら語ってくれました。

8月11日

ミニダルマを配り、無事故を訴え。

村交通対策協議会（会長・菊地西郷村長）は11日、夏の交通事故防止活動の一環として4号国道の交通検問所において「目のさめる運動のテント村」を設置し、母の会会員など交通安全関係者35人が、今年もお盆の帰省客で込み合うこの時期ミニダルマなどを配って道行くドライバーに「シートベルトを忘れないで」「気をつけて」と、汗をぬぐいながら安全運転を呼び掛けていました。



暮らしいきいき

古文書紹介

『天保十年三月
百姓心得の種』

奥州白川領熊倉村
長左衛門述



紹介者 大高良元先生

(第一回)

「江戸時代、凶災害は度々起っている。享保、天明、天保の凶作は奥州三大飢饉といわれ、郡中、町方共にその日の糧にも事欠き、餓死、打ちこわし、欠落等が多発し、農民は塗炭の苦しみを余儀なくされている」(西郷村史)

三大飢饉の様相については本書のほか、西郷村史資料補遺第一集飢饉鏡の項に集録されその惨状は生々しい。

かつて天保後期(一八三九年)熊倉村に飢饉を克服し、百姓時世の戒めを説いた人がいた。名を長左衛門と言いつ天保十年百姓心得の種を著述している。いま彼のこの木版が七代目の

子孫にあたる宮川長太郎氏によつて大切に保管されている。教育委員会はこれの「百姓心得の種」を解説・筆耕し、「広報にしごう」に掲載して先人の遺業を広く紹介することにした。

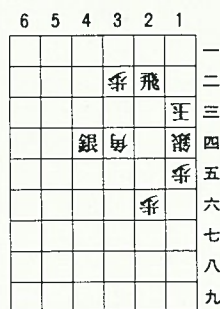
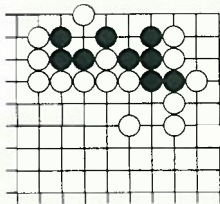
掲載にあたっては、つとめてわかりやすく、原語を現代語改め難解語句に註釈を加えた。

また広報紙面の関係で三回にわたりシリーズものとした。夫百姓の身代は先朝起を専らとして家の戸明けて屋敷見て三千世界を見る如くすみずみまでも気をつけて、馬を大事に致すべし我身代の柱ぞや。常の身持も見苦しく、つぎなき衣装はたしなんで、ただせしものに身をまとい、股引はいて腰巾着せよ、鍬・鎌腰より離さずして出る姿はよろい武者、田畑を廻りせいにしようし焚木をとりて草をかり、こやしの始末第一にたとひ下人を使うとも自身にことを致すべし。

もの種多たしなんで数たび土地へ造りおき、我子を大事にするように養ひ育つるものならば、さくくに違ひはなきものぞ、たとひ難儀の暮しでも五穀のめぐみあるならば老升ツツも取まさり手作の緑り多ければついには五穀もふだとなり次第次第に身代は富士の高根となりけり。はや出来秋になりぬれば兎角心に油断なく、上納事を精出して人より先に納むれば村役人も機嫌よく正直者と名をあげて、近村までの鑑ぞや。常々油断せぬ人は早極月にもなりぬれば寒さもさむし雪や風、身にしみじみと降る時は門へも出ずせち米を搗いて俵にこも着せて、重ねてみればこちよし、差引なしに暮らす人家内のおせち残りなく仕立てまてる正月や

歌に
天道のおきてを守る人ならば
五穀の恵みあらで叶はむ

有段を目指して



解答は19ページ

詰碁

出題 九段 武宮正樹
●黒先コウ・5手まで
●ヒント：隅にまず切りを入れ
て。
5分で3段、3分以内で高段者。

詰将棋

出題 九段 北村昌男
●ヒント：持ち駒が角金銀なら
2四銀、2二玉、1三角で簡
単ですが。
10分で2級、4分で二段。
持駒 角金桂

はや大つごもりにもなりぬれば志め縄はいて松たてて古木を焚いて茶を煎じ目出度酒盛する人は村の長者といはるるぞ、皆これ本はかせぎなり。五常の道を守るにも金銀なければ守られず、世を渡るにも力なし、かほど尊い金銭をそまつにすれば罰あたる、神仙にも思ふべし心もちよう納よう金銀大事に持人は、たとい無筆に育ちても智者学者にも勝るべし。この理を考へ百姓は先、第一におきてを守り、御公儀様の仰せの通、一家、親類、五人組、兄弟中むつまじく、家内のうちは猶のこと其村々の名主を敬い万事大事に御百姓を勤むべき者也。

- 歌に
養笠や農具を持たば鎧武者
- 田畑へ詰めて責める軍立
百姓の仕事ハ軍草は敵責亡せ
ば五穀身かた」と
- 註1 (身代) 財産や身分
註2 (つぎ) 継目
註3 (はばき) 外出、遠出などの折すねに巻きつけるもの
註4 (せいしよう) 善行や功勞をほめること
註5 (さく) 收穫物
註6 (ふだ) 沢山
註7 (上納) 領主、政府に物や金を収めること
註8 (極月) 十二月
註9 (せち米) 正月や節句用の搗米
註10 (おせち) 正月や節句の馳走に用いる煮しめ料理
註11 (大つごもり) 大晦日
註12 (五常) 人の守る道徳で仁、義、礼、智、信また父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信などを意味する
註13 (無筆) 読み書きのできない人
註14 (身かた) 味方

当日は早朝より村文化センターへ集合し、大型バス三台で尾瀬に向かいましたが、梅雨期とあってあいにくの雨の中でのハイキングとなりました。沼山休憩所から長蔵小屋までの往復の間、木道を、班の先頭を歩く元気の良い子供たちのあいさつを交わす声に、参加した大人も負けずと足場

今年で第八回を迎えた村中央公民館主催の尾瀬沼ハイキングが、今年も七月十六日の日曜日総勢百三十六人の参加を得て実施されました。

高層湿原の 尾瀬をたずねて



の悪さも気にせず頑張って歩いていました。
雨に濡れたレンゲツツジ、ニッコウキスゲの可憐に咲いた美しさが、私たちの疲れをいやし尾瀬の自然を心ゆくまで満喫できました。
雨の中、参加した皆さん大変お疲れさまでした。

「自然とのふれあいに満足した一日」



今年も、例年どおり参加希望者が多く、募集開始後すぐに定員となってしまった。みなさんの好評ぶりでした。みなさんも来年は、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

七月二十一日に帰国したマikel先生の後任として、英語指導助手となったイギリス人女性、スーミ・ハーパーさん（二十二歳）が七月二十六日來村しました。

二学期から村内の三つの学校で英語の指導に当たります。



Hello everyone. I am the new AET; Soumi Harper. I am 22 years old, and I come from Cornwall in the South-West of England.

My hobbies include long-distance running, surfing, rowing and water colour painting.

I hope to teach the original "Queen's English" to students of Nishigo's three Junior high schools. I am also interested in learning Japanese, and all about Japanese cooking. I would like to travel extensively around Japan and to countries nearby whilst I live here.

皆さんこんにちは。新しい英語指導助手のスーミ・ハーパーです。わたしは22才で、イギリスの南西部、コーンウォールから来ました。

趣味は長距離走、サーフィン、漕艇、水彩画などです。

私は、西郷の中学生に英語の元祖である、“クイーンズ・イングリッシュ”を教えていきたいと思っています。それから、日本にいるあいだに、日本のことや日本料理を学んだり、日本国内や近くの国々を旅したいと思っています。

この人この顔
新任の英語指導
助手は「スーミ・
ハーパーさん」



各種大会での成績などをお知らせします。

スポーツの窓

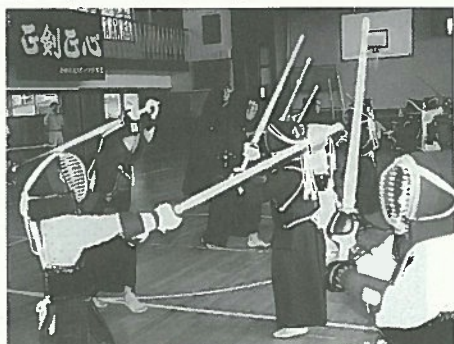
炎熱の中で各種スポーツ大会が開催

「正剣正心に飛び散る汗」

《第五回山下杯、第三回

村スポーツ少年団本部長杯》

結成五周年記念の第五回山下杯、第三回本部長杯剣道大会が納会を兼ね熊倉小学校体育館で七月三十日、西郷剣道スポーツ少年団、村スポーツ少年団主催で開催されました。成績は、次のとおり。



△切り返しでスタート。

低学年の部

▽優勝 森下 光

▽準優勝 菊地 真孝

▽第三位 緑川 賢

▽第三位 白岩 雄

▽第五位 露木 拓弥

▽第六位 大越健四郎

高学年の部

▽優勝 小椋 純一

▽準優勝 村田 和也

▽第三位 鈴木 雄樹

▽第三位 大越みなみ

熊倉小女子二〇〇メートルリレーで「優勝」

《西白河地区小学校水泳

競技会》

七月二十六日、白河市中田の市民プールで開催された西白河地区小学校水泳競技会において、参加二十七校の中、村内小学校児童が大活躍を見せました。(一位のみ掲載)結果は次のとおり。

◇女子Cグループ二〇〇メートルリレー「第一位」

(タイム・二分二十三秒九四)

熊倉小 穂積幸子、目黒純子

佐藤清恵、成井愛美

◇女子Cグループ五〇メートル

ル自由形「第一位」

熊倉小 穂積幸子

◇女子Cグループ五〇メートル

ルバタフライ「第一位」

熊倉小 成井愛美

◇女子Cグループ一〇〇メートル

トルバタフライ「第一位」

米小 菊地桃子

◇男子Bグループ五〇メートル

ル平泳ぎ「第一位」

熊倉小 金田優一

◇男子Cグループ五〇メートル

ル背泳ぎ「第一位」

小田倉小 富山和章

※Bグループ：四年生

※Cグループ：五・六年生

小田倉女子ミニバスケット

ついに東北大会で「優勝」

東北電力旗第八回東北ミニバスケットボール大会が十三、十四の両日、仙台市体育館で開催され女子の部で当村から出場した小田倉ミニバスケットチームが、決勝戦で宮城県代表の鶴ヶ谷ジュニアバスケットボールクラブを接戦の結果、四十対三十九で下し、念願の

初優勝を果たしました。



△接戦の末勝利を手にした小田倉ミニバスケットチーム

西一中「室井・鈴木組」東北大会個人戦優勝により昭和五十年以来二十一年連続全国大会出場達成！

第二十三回東北中学校ソフト



△東北大会での「優勝報告」と全国大会での激励金を菊地村長から手渡される西一中の選手の皆さん。

トテニス競技大会が、去る八月九日仙台市青葉山庭球場で開催され、個人戦(男子)に出場した西郷第一中学校、室井清治・鈴木勇人組が宮城県代表の長命ヶ丘中学校を四対〇で下し優勝。また、女子の部では西郷第一中学校の増子あゆみ・白岩 桂組が福島県代表の二本松中学校に決勝で敗れ準優勝にとどまりました。なお、西郷第一中学校の東北大会での優勝記録は、昭和五十年以来二十一年連続二十一年連続出場を果たしたことになります。

『表彰』

おめでとうございました。』

米作田納税貯蓄組合など表彰

優良納税・永年納税組合長で。

本村の今年度の優良納税貯蓄組合と永年納税貯蓄組合長の表彰式が七月二十四日、村文化センターで行われました。式には、二百十七組合からの代表ら百人が出席しました。席上、優良組合に村長から表彰状が贈られました。

引き続き菊地村長が各組合

の労をねぎらうとともに一層の村政伸展への協力を求めました。また、来賓の白河税務署長らが祝辞を述べました。

このあと、総会が開かれ、平成七年度事業計画(案)などが審議され原案どおり承認、可決されました。

表彰された功労地区、功労者は次のとおり。

【優良納税貯蓄組合表彰】

- ▼米作田 納税貯蓄組合
- ▼上羽太第二 納税貯蓄組合



△総会の席上表彰される優良納税貯蓄組合の代表(米作田・早山興四雄さん)

- ▼松林 納税貯蓄組合
- ▼田土ヶ入 納税貯蓄組合
- ▼下折口原第一 納税貯蓄組合
- ▼山下第一 納税貯蓄組合
- ▼原中下七組A 納税貯蓄組合
- ▼大清水第二 納税貯蓄組合
- ▼下芝原 納税貯蓄組合
- ▼黒森 納税貯蓄組合

【永年納税貯蓄組合長表彰】

- ▼小林サツ子(原中第八)
- ▼藤田 駿靖(上野原睦)

消防操法白河地方大会で 第7分団第4班(稗返)の消防団が、 「準優勝」



成果を披露。

第十二回県消防操法競技白河地方大会が八月六日、塙町小学校の校庭で東西白河の十二の消防団が出場し開催されました。

今大会には、村消防団からポンプ自動車の部で第二分団第一、二班熊倉チーム、小型ポンプの部に第七分団第四班稗返チームが代表として参加し、猛暑の中で消防操法競技が行われました。炎天下で選手たちは声援を受けながら、日ごろの訓練の

健闘し、その結果、小型ポンプの部に出場した第七分団第四班稗返チームが見事準優勝に輝きました。

なお、成績は次のとおり。

(町村名・以下三位まで)

- ◆ポンプ自動車の部
 - 優勝 棚倉町
 - 準優勝 塙町
 - 第三位 矢祭町
- ◆小型ポンプの部
 - 優勝 矢祭町
 - 準優勝 西郷村
 - 第三位 東村

県吹奏楽コンクールで 西郷一中が「銀賞」を受賞

8月6日須賀川市文化センターで行われた第33回県吹奏楽コンクールで西郷第一中学校吹奏楽部が銀賞を獲得。会場では出場した各学校の生徒たちの真剣な演奏に、父兄たちから大きな拍手が送られていました。



〔自由曲インヴィクタ序曲・指揮 野口雄子先生〕

〈十月一日は

国勢調査〉

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。

国勢調査の結果は、福祉・雇用・住宅対策など、国や都道府県・市区町村の行政に利用されます。

調査の対象は、赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方です。

九月二十三日から調査員が皆様のお宅に調査票の記入のお願いに伺います。ふだん住んでいる人をもれなくご記入ください。

ご記入いただいた調査票は十月八日までに、調査員が受け取りに伺います。皆様のご協力をお願いいたします。



国勢調査

平成 7 年 10 月 1 日(日)

総務庁統計局 福島県・西郷村

九月は、不法投棄防止強調月間！

不法投棄を防止し、

美しいわが村の

環境を守りましょう。

《住民生活課生活環境係》

不法投棄された廃棄物を撤去・処分するには、最初から適正に処理した場合の何倍もの費用がかかります。

◆「土地を造成してやる。」

「耕作（造林）しやすいように土を運んでやる。」といった相手には、安易に土を貸さないようにしましょう。

◆自分の土地であつても廃棄物の埋め立てなどによる造成は一切できません。

◆自分の土地が廃棄物の捨て場にされないよう柵を設けたり、定期的に見回りましょう。

◆不法投棄を発見したときや、ドラム缶や廃棄物を積んだ不審なトラック等を見かけたときは、白河保健所、役場、または白河警察署に連絡してください。

宝くじの助成を受け、

野球場付近の

環境を整備

宝くじの普及広報事業の一環としてこのほど、（財）自治総合センターから平成七年度緑化推進コミュニティ助成事業として一〇〇万円の助成を受け村民野球場の広場の一角に、ソメイヨシノ三本、オトギリソウ科のヒペリカムカ

リシナム（一六三平方メートル）の植栽工事が行われました。



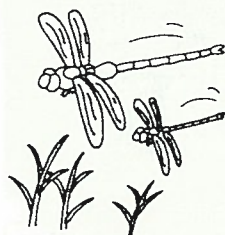
▲国体会場の周辺も整備されました。

西郷農村勤労者福祉センター（アクティブセンター西郷）からのお知らせ

すばらしい眺望の中で仲間とさわやかな汗をながしませんか。

アクティブセンター西郷は、ちやばランド西郷の隣にある皆様方の多目的施設です。各種会議、研修会、講習会等には十人〜五十人まで使用できる会議室、研修室等があります。また、多目的ホール、トレーニング室には各種スポーツ用具、トレーニング用具を揃えてあり、体力増強、シェイプアップ等にご利用できます。又、教養文化室には囲碁、将棋等もありますので、気軽にご利用下さい。

電話 36-2424



国体広報 ④

「うつくしま、ふくしま」交通事故のない村づくりに、一役かっている西郷村パトロール隊。

去る七月二十八日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が展開されている中、村パトロール隊と白河警察署西郷、甲子高原の両駐在所員総勢十人による街頭活動が、白河羽鳥線の下羽太地区で夕方行われました。

約二時間の間、仕事やレジャー帰りの通行車両にティッシュなどを配り過労運転による交通事故のないよう呼び掛けていました。



▲村内観光道路での街頭活動

（今回で終了します。）

乳幼児のための健康カレンダー (9月・10月)



6～7ヶ月児健康相談、8月3日村文化センター

月 日	種 目	受付時間	場 所	対 象 など
9月6日(木)	2ヶ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年6月生まれの乳児
7日(金)	12～13ヶ月児健康相談	※ 9:30～10:30	※	平成6年7月・8月生まれの幼児
20日(木)	3～4ヶ月児健康診査	午後1:00～1:30	白河保健所	平成7年5月生まれの乳児
10月4日(木)	2ヶ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年7月生まれの乳児
5日(金)	6～7ヶ月児健康相談	※ 9:30～10:30	※	平成7年2・3月生まれの乳児
6日(金)	3才児健康診査	午後1:00～1:30	※	平成4年5・6月生まれの幼児
18日(木)	3～4カ月児健康診査	※ 1:00～1:30	白河保健所	平成7年6月生まれの乳児
27日(金)	1才6カ月児健康診査	※ 1:00～1:30	村文化センター	平成6年2・3月生まれの幼児



1. 出血
2. おりもの
3. 月経異常
4. 下腹部の不快感・痛み

◆こんな症状がでたら
すぐに専門医の診断を
受診しましょう。

子宮がんは、乳がんとともに死亡数の多い女性特有のがんです。集団検診の普及と治療法のめざましい進歩、婦人の知識の向上などにより死亡は大幅な減少傾向にありますが、発症数は依然多い実情です。

子宮がんは早期発見で なおる病気です。

子宮がん、乳がん施設検診	
実施期間	H7. 10月2日(月)～11月30日(木)
料 金	無 料
指定医療機関	別紙 公衆衛生係からのチラシを参照願います。

子宮がん検診	
受付時間	午前9:00～10:00 (料金 無料) 午後1:00～2:00
実施月日	会 場
9月25日(月)	午前 文化センター
	午後 文化センター
9月26日(火)	午前 西郷村立幼稚園体育館
	午後 上新田転作技術センター
9月27日(水)	午前 農民研修センター
	午後 農民研修センター



▲今日も出動！

救急車を呼ぶ時の注意
あわてないでハッキリと通報しましょう。

※ 場所・近くの目標の建物
※ 怪我 (交通事故
それとも病気)

この日は、救急業務及び救急医療に対して住民の正しい理解と認識を深めていただくため実施するものです。

昨年西郷村内で、二百八十一人の方が救急車を利用しました。(村民六十三人に一人の利用) Ⅱ利用のベスト5 Ⅱ

- ① 急病 ② 交通事故
- ③ その他転院搬送等
- ④ 一般負傷 ⑤ 労働災害

9月9日は『救急の日』
9月3日～9日までは、
『救急医療週間』
《白河消防署西郷分署》

9月の主な行事

- 1日 健康増進普及月間（厚生省）
 がん征圧月間（厚生省）
 福祉月間（厚生省）
 自動車点検整備促進運動（～10月・運輸省）
 船員労働安全衛生月間（運輸省ほか）
 無保険（無共済）バイクをなくそうキャンペーン（運輸省）
 不正改造車排除運動（～10月・運輸省）
 障害者雇用促進月間（労働省）
 防災の日（国土庁ほか）
 救急医療週間（～9日・厚生省、消防庁）
 5日 石炭の日「クリーン・コール・デー」（資源エネルギー庁）
 9日 国民体育大会夏季大会（～12日・福島県で・文部省）

- 9日 救急の日（厚生省、消防庁）
 10日 全国下水道促進デー（10日を中心とする1週間・厚生省、建設省）
 12日 宇宙の日（科学技術庁）
 水路記念日（海上保安庁）
 15日 「敬老の日」及び「老人保健福祉週間」（～21日・厚生省）
 16日 全国海難防止強調運動（～30日・海上保安庁）
 20日 動物愛護週間（～26日・総理府）
 21日 秋の全国交通安全運動（～30日・総務省、警察庁）
 24日 結核予防週間（～30日・厚生省）
 環境衛生週間（～10月1日・厚生省）

9月

(長 月)

September

平成七年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験案内

《都市計画課下水道係》

下水道の排水設備工事を行うためには、指定工事店としての登録をしなければなりません。排水設備工事の設計及び施工に関し技能を有する者（下水道排水設備工事責任技術者「以下責任技術者という。」）が工事店に専属していなければなりません。

この試験は、責任技術者としての技能を認定するため、(財)福島県下水道公社が実施するものです。

◆試験の日時及び場所

- ・平成七年十一月十日(金)
- ・午後一時三十分～午後四時
- ・磐梯グランドホテル(郡山市熱海町熱海二二七)

◆試験方法

・筆記式

◆受験申込期間

- ・平成七年九月一日から九月二十九日まで

◆受験申込先

・村都市計画課下水道係(申込用紙は下水道係に用意してあります。)

◆受験資格

(1)試験を受験できるものは、試験の実施日において、年齢が

満二十歳以上で、かつ、次の各号の一つに該当するもの。

ア. 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)による高等学校または旧中学校令(昭和十八年勅令第三十六号)による中学校以上の学校(以下「高等学校」という。)

イ. 高等学校を卒業した者で、

ウ. 排水設備工事等の設計または施工に関し、受験申込日において二年以上の実務経験を有する者

エ. 前各号に掲げる者に準ずる者として別に定める者

(2)ただし、次の各号の一つに該当する者は、受験することができません。

ア. 禁治産者もしくは準禁治産者または破産者で復権していない者

イ. 不法行為または不正行為等によって試験の合格または責任技術者としての登録を取り消され、二年を経過していない者

ウ. その他、下水道公社理事長が受験を不適当と認める者

◆受験手数料

・三、〇〇〇円

◆その他

・受験者のうち希望者に対して講習会を行います。なお、試験に関し詳しいことは、村都市計画課下水道係 二五一一一一(内線二九三、二九四)までお問い合わせください。詳しい資料を差し上げます。

平成七年九月から雇用保険の雇用継続給付の支給が始まります。

《県雇用保険課適用係》

平成七年四月一日に施行されました改正雇用保険法は、失業給付に加えて、新たに雇用継続給付が創設され、九月一日から支給されることになります。

◎高年齢雇用継続給付

五年以上の被保険者期間のある六十歳以上六十五歳未満の被保険者で、六十歳時点の賃金の八十五%未満で働いている場合に、最高で賃金の二十五%が支給されます。

四月一日現在、六十歳以上六十五歳未満の被保険者は経過措置があります。

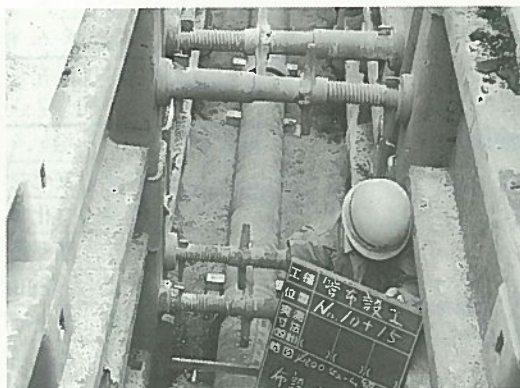
◎育児休業給付

一歳未満の子を養育するため、育児休業する被保険者に、休業中は賃金の二十%が、職場復帰六カ月経過後に賃金の五%が休業した月数分支給されます。

四月一日現在、育児休業している被保険者は経過措置があります。

なお、支給を受けるには、受給資格確認の手続きが必要。詳しくは、公共職業安定所へ。

▶下水道工事



家族で挑戦!!



ふるさと産品の到着を
お楽しみに!

『第2回 “うつくしま・西郷” 有線ふるさとクイズ大会』

先月、お盆の12日、13日、14日の3日間定時放送で行いました「第2回 “うつくしま・西郷” 有線ふるさとクイズ大会」、皆さんからのたくさんのご応募ありがとうございました。問題は、難しかったですか?それとも、簡単で物足りなかったですか?

さて、下記のとおり解答をお知らせいたしますので、ご自分の解答と照らし合わせてみて下さい。

なお、当選者については、「抽選会」終了後、広報「にしごう」10月号と有線放送、そして個人通知をいたします。今後共当事業にご協力をよろしくお願いいたします。

解 答

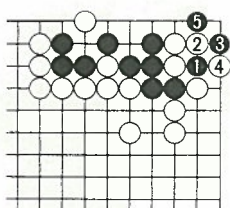
- 【設問1】 今年4月に西郷村と国際友好都市提携を結んだ、中国天津市にある都市名はなんですか? (薊県)
- 【設問2】 今回開通した289号線甲子バイパスの中の一番長い橋とトンネルの名称は? (安心坂トンネル・第1剣桂橋)
- 【設問3】 キョロロン村にあるジェットコースターは「○○○○スライダー」でしょうか? (ドキドキ)
- 【設問4】 村内にある小学校と中学校の数はいくつでしょうか? (小学校 5つ・中学校 3つ)
- 【設問5】 山下にある授産施設の名称は何でしょうか? (希望の家)
- 【設問6】 今年、西郷村で開催される国体競技は何でしょうか? (軟式野球競技)
- 【設問7】 西郷村の平成7年7月1日現在の人口は何人でしょうか? (17,783人)
- 【設問8】 甲子にある樹齢300年、樹高35mの桂の木の名称は何ですか? (剣桂)
- 【設問9】 県の無形民族文化財の指定を受けている上羽太天道念仏踊りが毎年公開されるのは何月でしょうか? (6月)
- 【設問10】 今年7月に追原にオープンした追原そば直販店の名称は「そば処○○○」でしょうか? (追原庵)

— たくさんのご応募ありがとうございました。 —

今月の納税

国民健康保険税 第3期分

12ページの解答



〈詰碁正解〉まず黒1と切り、続いて黒3のハネ、さらに黒5のハネでコウに持ち込みます。

〈詰碁正解〉2五桂、同銀、2四飛成、同玉、3五角、2三玉、1三金まで7手詰め。

〈解説〉好打2五桂。これを同角なら1二金で詰みますし、2二玉なら1三角で詰みます。2五桂、同銀のときに2四飛成はさわやかな捨て方で、次に角金を打っての詰み。

善意をありがとう
ごさいます。

【甲子】

◎西郷村心身障害児(者)親の会に寄付された方々をご紹介します。

▼信越化学労働組合青年婦人部

【大平】

(六月二十一日、信越半導体
しゃくなげ祭り時のバザー益
金等を寄付、心身障害児者の
福祉向上へ)

一四二、〇〇〇円

◎日本赤十字社西郷村分區に寄
付された方々をご紹介します。

▼信越半導体(株) 白河工場有
志(代表・有坂猛三)

【大平】

(六月二十七日、赤十字事業
の振興を願って)

一三七、一九三円

◎西郷村社会福祉協議会に寄付
された方々をご紹介します。

▼白河高原カントリークラブ



△菊地村長に寄附金を手渡す白河高原カントリークラブ代表(左)

(八月七日、チャリティニア
ピン大会参加の一部を交通遺
児激励のため)

一七〇、〇〇〇円

誌上天然色作品展

図画

私の訴え

西郷第一中学校三年

菅谷将規



美術科担任の
先生から一言

安斎正夫先生

私の訴えというテーマによる作品です。近年の環境問題について、子供の立場から経験などを通して発言しています。自分の決意を含めての訴えが感じられます。

こんな所に、 ゴミが……



詩

忘れない
なずなすず



西郷第一中学校一年

大高窓佳

ふつてごらん
わたしをゆすつてごらん

ほら

楽しくなる

うれしくなる

すずのねいろが

楽しくさせる

うれしくさせる

静かにひびいて

いつまでも忘れない

いつまでも忘れさせない

まるで

わたしのまほうに

かかったみたいに

国語科担任の
先生から一言

尾股洋子
先生



なずなの異名を知っていますか。

だれもが、一度は鈴の音色にひかれます。

作者のみつめる野の草の特徴や優しい心が、

詩の中にうまく生かされています。

身近な花をたずねて ③

ヒマワリ

真夏の陽光の下に大輪の花を咲かせる姿から「太陽の花」といった呼び名や、「太陽についてまわる花」と呼ばれるようになったといわれ、わが国では、中国の「向日葵」の文字をあててヒマワリと呼んでいます。

空の青さに白い入道雲（積乱雲）とヒマワリの黄色のコントラストは、子供の絵日記の一コマのようです。

（撮影・平成7年8月7日、折口原地内）



編集後記

毎月のことながら、十五日が過ぎると慌ただしくなり、また、と言うのも毎月一日発行の「村だより」の記事締切日。十五日以降の一週間で原稿整理し作成、割付して印刷所へ回します。

その後の一週間で、初校、再校正をして、発行の運びとなりますが、その間約一週間。原稿をまとめ終わった時が一番うれしく、また納品後に自分で新しい村だよりを最初に見開く時、出来、不出来の不安と同時に、次回は何を掲載しようかと悩むのも事実です。そんな訳で、また明日から記事集めに村内を奔走します。

【円谷】